

建物疎開作業で亡くなった動員学徒の碑めぐり ～平和大通りを関千枝子さんと歩いてみましょう～

広島原爆で12～13歳の少年少女が、6,000人以上も死んだことをご存知ですか？

1945年8月広島市は全市を挙げて強制建物疎開作業を行っていました。まだ人の住んでいるところも追い立てて家をこわし、道にするのです。

その作業に広島中の中学、女学校1、2年生が8,000人以上も動員され、6,000人が死にました。教育史上最大の災害と言われます。この作業でできたのが「平和大通り」。ここは子どもたちの墓場なのです。平和大通り付近の慰霊碑を回りますが、慰霊碑もなく、死者の名前も数もわからなくなっているケース（国民学校高等科に多い）に思いを馳せながら歩きたいと思います。案内者の関千枝子さんは8月6日、病気で欠席、命を長らえますが、クラスは市役所東側（雑魚場地区）で全滅しました。



第一県女追憶の碑

<関千枝子さんプロフィール>

1932年生まれ、毎日新聞記者、全国婦人新聞（女性ニュース）編集長。著書に『広島第二県女二年西組』（筑摩書房、日本エッセイストクラブ賞受賞）、『ヒロシマの少年少女たち 原爆、靖国、朝鮮半島出身者』（彩流社）

日時：2016年8月5日（金）14:00～17:00

集合場所：はるぜんビル 6階
(〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11)

☆広島YWCAの青いのぼり旗が目印です

受付開始 13:30
フィールドワーク前の話 14:00～14:45
フィールドワーク 15:00～17:00



(案内コース)

ヒロシマの碑(案内者:今田洋子)→市女の慰霊碑→被爆動員学徒死没慈母観音像→第一県女追憶の碑→演劇「さくら隊」の碑→県立一中追憶の碑→山中高女・第二県女(雑魚場町建物疎開跡)→解散

参加費：一般 1,000円 / 小中高校生・大学生500円 (資料代と保険、飲み物付き)

申込み：一般財団法人広島YWCA 申込み締め切り：7月29日(金)

☎&FAX: 082-258-4878 (水・木・金の10:00～16:00)

当日の連絡先 090-8998-6368 (広島YWCA 平和活動部会 難波郁江)

メールアドレス: hiroshimaywca@nifty.com

主催：一般財団法人広島YWCA(広島市東区若草6-7 広島主城教会気付)

